

公益社団法人 地盤工学会
第 2 回 会員・支部部会
議 事 録

平成 28 年度

日 時：平成 28 年 7 月 21 日（木）16：00～18：00		会 場：地盤工学会 3 階会議室	
理 事 会 員・支 部 部 長 田 中 耕 太 郎 ○			
理 事 廣 岡 明 彦 (会 員・支 部 担 当)	○	理 事 田 中 真 弓 (男 女 共 同 参 画・ダ イ バ ー シ テ ィ (委) 委 員 長)	○
部 員 石 川 敬 祐 (継 続 教 育 シ ス テ ム 委 員 会 委 員 長)	○	部 員 須 賀 幸 一 (支 部 活 動 情 報 の 収 集 配 信 W G リ ー ダ ー)	×
部 員 石 井 裕 泰 (学 会 B C P 検 討 W G リ ー ダ ー)	○	部 員 遠 藤 一 郎 (支 部 活 動 情 報 の 収 集 配 信 W G サ プ リ ー ダ ー)	×
部 員 渡 邊 康 司 (技 術 普 及 委 員 会 委 員 長)	×	理 事・副 会 長 古 屋 弘	×
事 務 局：伊 佐 治 ○			

○:出席 ×:欠席 △:未定

◎本日の議事録作成担当者（田中 真弓）

議 題：

1. 前回議事録の確認（2016年5月13日開催）

資料－1 pp.1～2

- ◆ 田中耕太郎部長より説明され、了承された。以下については継続審議となった。
 - －「賛助会員」（本部）と「協賛会員」（支部）について、定義が不明確となっているため、田中耕太郎部長、事務局（中村事務局長、伊佐治氏）と相談し、支部と調整しながらどのようにすべきか検討する。
 - －会員制度が複雑化しており、会員データベースの整備に課題がある。事務局（伊佐治氏（中村事務局長に相談））で課題と対応工程を整理し、次回部会で審議する。
 - －会員データベース WG は、昨年度までに更新された新システムを作るための WG であり、システム完成後の新たな問題への対応は含まれていない。新たな課題への対応が、本 WG で可能か、新たな WG の設置が必要か、まずは今の WG 担当者と相談する。
 - －会員データベースの有効活用について
 - ・支部で支部活動に必要な人材を探すための基礎資料としたい。
 - ・所属など、任意登録の項目が多い上、更新がきちんと行われていないという課題がある。
 - ・全国大会などで、キャンペーン的に会員登録情報更新を促してもいいかもしれない。
 - ・ダイバー会費免除制度の効果を分析できるといい。
 - ・60 才以上の会員は、定年という理由で退会する方が多い。シニア会員の会費減免について、他学会でも取り組んでいる。当学会ではどのようにするか、継続的に審議していく。

2. 理事会報告（2016年5月開催）

資料－2 pp.3～12

- ◆ 田中耕太郎理事より説明され、了承された。渡邊委員長から要望があった、理事会議事録確定後すぐの周知について、総務部に確認して問題なし、とのことであったため、次回より田中耕太郎部長より部員に周知することとなった。

3. 理事会からの検討依頼

1) 科学技術人材育成に関する情報提供依頼（日本工学会）

資料－3 pp.13～14

- ◆ 中村理事より資料説明がなされ、ダイバーシティ委員会の該当情報を、事務局より先方に情報提供することで了承された。

2) 全国地質調査業協会連合会より「地質と調査」への原稿執筆依頼

- ◆ 伊佐治氏より説明があり、意見交換がなされた。原稿作成は、関連 3 委員会（男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会（約 2 ページ）、技術普及委員会（約 1 ページ）、廃炉地盤工学委員会（約 1 ページ））と会員支部部で「はじめに」と「まとめ」を担当することとなった。

3) 若手技術者ネットワークへの参加登録（日本学術会議）

- ・JGS 側の窓口が主たる役割であるので、本件に対する当会の代表者は、田中真弓理事を登録することとした。
- ◆ 中村理事より説明され、了承された。

4. 所管委員会関連

1) 地盤品質判定士

資料－4 pp.15～22

- ・現状報告
- ・熊本地震による住宅地盤被災者への地盤品質判定士の対応

◆ 中村理事より以下の報告があった。

- －2016年の受験者数は約300人であり、今後も同程度と予想される。協議会の維持は450人程度なければ困難であるため、会長を含め基本方針を見直す。
- －熊本での地盤品質判定士の活動は、建築士経由で建物でなく地盤に問題がありそう、という案件について依頼がきており対応している。熊本県内での地盤品質判定士だけでは対応が困難であるため、県外からも応援できる方法を会長名で熊本県に申し入れた。

2) 技術普及委員会

- ・平成28年度9月～11月開催予定の講習会企画

資料－5 pp.23～27

◆ 伊佐治氏より説明があり、了承された。

- ◆ 本部で開催した講習会を支部でも行う場合、PPTの転用がされる場合があるが、作成に相当の労力がかかっているため転用を嫌がる人もいる。支部でも使う場合は資料提供代を支払ってもよいのではないか、という意見が中村理事よりあった。

3) 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

資料－6 pp.28～36

- ・夏の学校
- ・サロン・土・カフェW（第51回地盤工学研究発表会）
- ・特別セッション【地盤工学会におけるダイバーシティの実現】（第51回地盤工学研究発表会）
- ・男女共同参画学協会連絡会からの【第4回大規模アンケートの設問】についての確認要請

- ◆ 田中真弓理事より説明があり、了承された。世代間交流会の開催が関東支部の若手交流会の一週間前と非常に近かったことから、支部イベントとの日程調整があったほうがよかった、という反省があったことが報告された。
- ◆ 本部と関東支部は密接に連絡を取るとともに、支部も含めたイベントカレンダーを本部のHPに掲載するとよいのではないか、という意見交換がなされた。事務局の広報担当（新田氏）に検討してもらえるかどうかを伊佐治氏より聞いていただくことになった。

4) 継続教育システム委員会

- ・地盤工学会の活動分類とCPD単位の見直しのご案内

資料－7 p.37

- ◆ 石川委員長より上記について地盤工学会誌で案内を出す予定との説明があり、了承された。

- ◆ 廣岡理事より同一イベントにおいて、他学会と地盤工学会で異なるという指摘があり、石川委員長から建設業議会で問題提起していただくことになった。

5) 会員データベース管理システム改善WG

- ◆ 特になし。

6) 支部活動情報の収集配信WG

- ・支部との意見交換

資料－8 pp.38～52, 別添資料

- ◆ 田中耕太郎部長より説明があり、9月の全国大会一日目の本部・支部連絡協議会で情報提供することが了承された。

7) 学会BCP検討WG

- ・これまでの経過報告と今後の取り組み

資料－12 pp.65～76

- ◆ 石井WGリーダーより説明があり、今後については田中耕太郎部長とWG担当者が相談することになった。

5. 会員処理

1) 復会案内の送付

資料－11 pp.63～64

- ◆ 伊佐治氏より説明があり、了承された。

6. 新入会、ダイバーシティ制度申請、熊本地震被災による会費減免申請（7月申請分）

資料－9 pp.53～60

- ◆ 伊佐治氏より説明があり、了承された。会員データは、理事会資料では H22 年度以降のデータを掲載することとなった。

7. その他

1) 平成 28 年度「本部・支部連絡協議会」の開催

資料-10 p.61~62

- ◆ 田中耕太郎部長より説明があった。当日の議題として以下 2 つが決定された。もう 1 つの議題については、地盤品質判定士の説明は支部から要望が出ているが中村理事が欠席のため見送られた。部員からの案を募集するとともに来週の理事会で募集することになった。
 - ①支部の運営状況（関東支部、四国支部）（各 15 分、開催案内とともに担当支部に伊佐治氏から連絡。）
 - ②支部ヒアリング結果の報告
- ◆ また懇親会を開催予定であり、出欠連絡・集計を田中耕太郎部長が担当されることになった。

2) 「特別会員表彰」、「永年にわたる正会員への感謝状贈呈」について

- ・支部総会（各支部 4 月開催）での表彰になるため、他の一般表彰よりも早めに受賞通知を行いたいため、以下のスケジュールでのご対応をご検討してほしい。

《スケジュール》

- 10 月まで（会員・支部部で選出、これまでは年内）
- 11 月中旬（表彰委員会で選考、これまでは 1 月表彰委員会幹事会を経て 3 月委員会）
- 12 月（理事会に報告・決定、これまでは 3 月理事会報告・決定）

<補足事項>

- ・1 月中旬に会費請求があるので、その前に受賞通知することで退会を防ぐ
- ・支部が速く対応できる
- ・賞状作成の準備に余裕がでる（団体名称の確認も十分に行える）
 - ※受賞決定時に再度、在会状況を確認する必要がある
- ◆ 伊佐治氏より説明があり、了承された。
- ◆ 中村理事よりプレミアム会員は 80 才を起点としており、プレミアム会員になれば 80 才以上は会費が無料となるため、80 才が近づいたら案内を出してはどうかという意見が出され、今後検討していくこととなった。

8. 次回以降の部会等開催日程

平成 28 年度第 3 回：平成 28 年 9 月 13～15 日（火～木）の全国大会会場で実施予定。

- ◆ 田中耕太郎部長に別途メールで日程調整していただくことになった。